

日本動物実験代替法学会主催

眼刺激性試験代替法技術セミナー

OECD TG491, TG492B, TG467

日本動物実験代替法学会では、OECDテストガイドラインに記載された試験法を対象とし、その普及と技術習得の促進を目的とした技術セミナーを開催しています。

本年度は、2025年に更新された*in vitro*眼刺激性試験法STEおよびSTE^{0.5} (OECD TG491)、角膜上皮モデルを使用した試験法 (OECD TG492B) を主な対象とした講義と実技を伴う技術セミナーを開催します。近年、これらの試験法を組み合わせる枠組みが整備されつつあることから、試験法の理論に加え、眼刺激性試験代替法の全体を見据えた特徴と使い分け、眼刺激性Defined approach (OECD TG467、2025年に更新された最新版) に従った解釈、実務上のコツやトラブルシューティングなど、幅広い内容を取り上げます。実技では、実際にOECDテストガイドラインにて指定されているSIRC細胞およびSkinEthic™ HCEを用いた試験操作および結果解析に加え、検体の曝露や洗浄操作の注意点、難溶性物質や製剤評価のコツなど、試験実施においてポイントになる操作を中心に、各試験法の熟練者のサポートの下で実施します。

これから*in vitro*眼刺激性試験の実施を検討されている方や、既に実施をされていて疑問点や解決したいトラブルがある方などにお役立ていただける内容となっています。

日時： 2026年7月14日（火）10:00～17:00（受付 9:30～）
2026年7月15日（水）10:00～17:00

場所： 日光ケミカルズ株式会社
R&D センター 中央研究所/マテリアル開発研究所
東京都板橋区蓮根3-24-3

協賛： 株式会社ニコゲームリサーチ



講師： 花王株式会社 安保孝幸 先生
日光ケミカルズ株式会社 清水健司 先生

講師サポート： 日光ケミカルズ株式会社
一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所
DRC株式会社、他

内容： ① STEおよびSkinEthic™ HCEを使用した試験法の理論、
特徴と使い分け、眼刺激性Defined approach
(OECD TG467) に従った解釈
② ポイントとなる操作のデモンストレーション・実技
(検体曝露、洗浄時の注意点、製剤評価のコツなど)
③ 熟練者とのQ&Aセッション

定員： 20名 (先着順)

費用： 日本動物実験代替法学会
会員：55,000円 非会員：75,000円
(賛助会員の企業様は1名を会員価格で申込可能)

申し込み期間： 2026年5月11日 (月) ~ 2026年6月15日 (月)

申し込み・問い合わせ先：

メールにてお申し込みください。メール本文に参加者のお名前、ご所属、
お電話番号、会員・非会員をご記載ください。



**日本動物実験代替法学会
企画委員会 (清水・水谷)**

Email: jsaaekikaku002@gmail.com

【お願い】

申込人数が定員を超えた場合は、先着順となります。
同一所属先から複数名お申し込みの場合、ご参加人数の調整をお願い
させていただく場合があります。